

SPRING

日本大学 生産工学部 No.92

2009年3月23日発行

■巻頭メッセージ

卒業生に贈ることば

生産工学部 学部長 石井 進

■巻頭特集

2008年就職活動の総括と分析

今年度の就職状況及び今後の展望

生産工学部 就職指導委員会

就職活動体験記

■連載／卒業生インタビュー

日揮(株) 門 万寿男さん

■トピックス

電気電子工学科／建築工学科／
応用分子化学科／数理情報工学科

■平成20年度 表彰学生

- ミモミの もっとBikaBika生産工
- ミモミのblog掲示板

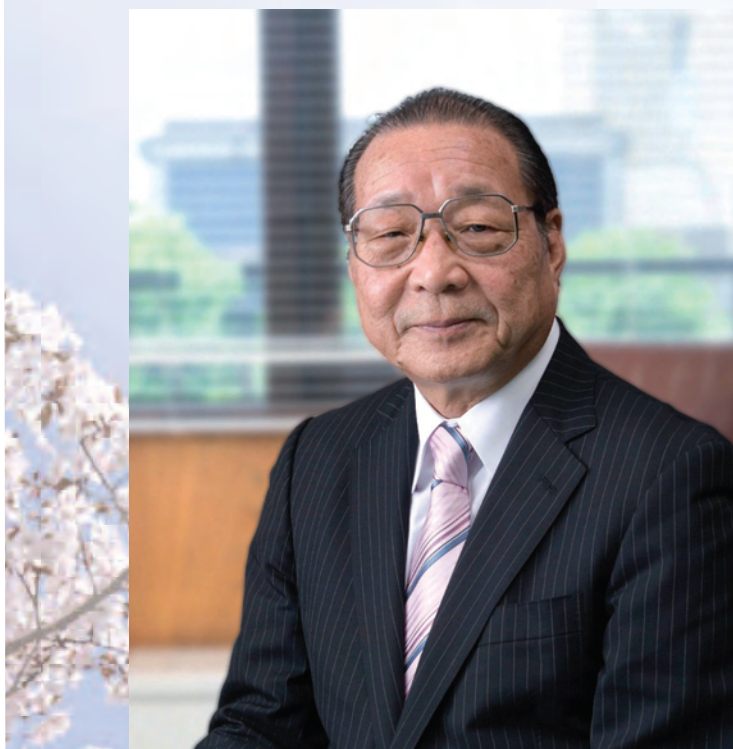


Contents

| | |
|--|--------|
| ■学部長メッセージ | 2 |
| ■特集 / 2008年就職活動の総括と分析 就職活動体験記 | 4 6 |
| ■ミモミのもっとBikaBika生産工 | 13 |
| ■連載 / 卒業生インタビュー | 14 |
| ■トピックス | 16 |
| ・電気電子工学専攻 比連崎 文彦君 電気設備学会全国大会発表奨励賞受賞 | |
| ・建築工学科 第10回宮協賞 1年生グループの「都市ギャラリー」が受賞 | |
| ・応用分子化学科 辻教授がインド化学工学会議2008 において Chemical Weekly's Padmasri Dr G P Kane Chemcon Distinguished Speaker Award を受賞 | |
| ・数理情報工学科 ソフトウェア開発技術者試験に3名、 基本情報技術者試験に17名の学生が合格 | |
| ■平成20年度表彰学生 | 20 |
| ■平成21年度行事予定表 | 22 |
| ■ミモミのblog掲示板 | 23 |



表紙:「風景の指輪」



日本大学生産工学部
学部長

石井 進

「巣立っていく学生諸君に」

卒業生・修了生の諸君、卒業・修了おめでとうございます。心より御慶び申し上げます。

皆さんがこの大学で学んだ数年間。

有意義に過ごすことができたでしょうか。

この数年間、生産工学部では「教育力」「研究力」「就職力」「経営(革新)力」「財務力」の5つの力の相乗効果を紡ぎ出し、「学生を大切にする大学づくり」「明るい大学づくり」「開かれた大学づくり」そして「魅力ある大学づくり」を行ってまいりました。これらの「大学づくり」を行うための基盤として、学生一人ひとりと向き合い、対話を基本としたきめ細かな教育環境の実現と大学全体を視座に置いた種々の改革を行うことが重要と考え、実行してまいりました。

在学中、図書館・体育館・テニスコートなど、キャンパスにある種々の施設・空間を利用したでしょうか。アカデミック・アドバイザー室やイングリッシュ・カフェに行ったでしょうか。サークルに参加したでしょうか。学問や教育に対して熱意が感じとれる先生の授業を受けることができたでしょうか。ゼミナールや卒業研究に対し熱心に取り組み、成果を上げることができたでしょうか。そして、肝胆相照らし一生付き合える友人と出会えたでしょうか。

原風景や思い出の一つとしてキャンパスライフが皆さんの心の中に刻まれたことと思います。記憶や思い出を大切にするには、世界の中に自分の最も居心地の良い場所を見つけることに繋がることは言うまでもありません。

卒業・修了後は約40年、社会の一員として活躍していくこととなります。20世紀の資源消費型社会から、21世紀の資源循環型社会への転換の中で、高度

情報化技術に対応する安全性や倫理性を身に付けた生産技術や生産システムを構築できる優れた管理技術者であると共に、豊かな人間性溢れた、コミュニケーション能力のある国際人を目指してもらいたいと思います。

世界のどこへ行っても人間として尊敬されるだろう人を国際人と定義付けするならば、話す手段よりも話す内容を身に付ける必要があると共に、人間の中身を豊かにする努力が重要だと思います。専門書のみならず、哲学、文学、歴史、伝記といった本を読むことは、人類がこれまでに成就したことがらを学び・知るだけでなく感性がより一層磨かれると共に、倫理観が形成されていくと思います。

加えて、コミュニケーション能力とは、自分の考えを他人に良く分かるように説明できる能力のことであると同時に、他人の言葉を理解し、共感できる能力のことであると考えます。

新たな仕事を始めるとき、あるいは仕事に行き詰ったとき、また何か相談事があるとき、再び大学で学びたくなったとき、いつでも遠慮すること無く大学に来て下さい。大学や研究室は卒業生・修了生のベースキャンプの役割を果たします。

日本大学の校友は今年の卒業生で100万人を超えます。多くの校友があらゆる分野で活躍しており、互いに切磋琢磨することや情報交換することや助け合うことで更なる進歩・発展がより可能になると思います。同時に、卒業生・修了生諸君は学窓を後にした後も、日本大学そして生産工学部の一員であったことに大いに誇りを持ち、益々の活躍と力を社会で発揮できることを祈念すると共に、学部発展のために寄与していただくことを心より期待しております。

2008年 就職活動の総括と分析

今年度の就職状況及び今後の展望

平成20年度の就職環境を見ると、いわゆるアメリカのサブプライム問題による影響が日本の実体経済に多大な影響を与え、その不安定要素の継続により、就職状況も新たな局面を迎えるに至りました。

今年度当初（特に理系）、企業の採用計画は6年連続増加（伸び率鈍化）、堅調・新卒採用を拡大するとしました。先行き不透明としながらも学生の売り手市場で企業間での学生争奪戦が今年度も繰り広げられたのです。

学生は、相変わらず定着した厳選採用のもと企業が求めるコミュニケーション能力・熱意などをキーワードに奮闘しました。

「内々定」を出す時期は前年より早く、早めに動いた学生とそうでない学生で、その差が出たとされています。

しかし、結果としては、10月20日新聞紙上では、主要企業の大卒採用内定者数（09年春入社予定）は、昨年4月入社した人数に比べて1.4%減と5年ぶりのマイナスに転じたことを報じ、景気の不透明さは、減速の影を忍ばせました。さらに、新卒者の内定取り消しが769人にのぼるなど深刻な問題も報じられました。これら状況は、まさに就職活動を真摯に取り組むことが強いられます。

今年度のデータ紹介・分析

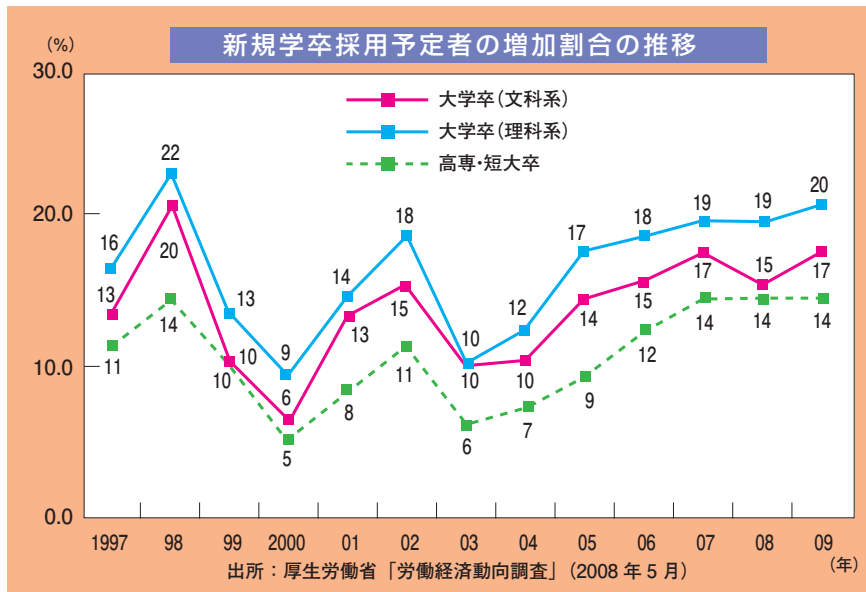
平成20年度の学生動向としての学生調査では、「売り手市場」と言われながらも、学生の約6割は、その認識をもっていないとしました。（ディスコ2008年人と採用）つまり「非常に厳しい」「やや厳しい」との覚悟をして就職活動に臨んだ学生は、合計で52.8%と半数を超えて、「非常に楽」と楽観視する学生0.5%とは、大差で引き離れたのです。

が明らかとなりました。

今後の展望は、動向が注目されるどころですが、理工系に限っては、まだまだ堅調との判断が支配的です。

バブル崩壊時は、採用数を極端にしばり0としましたが、近年、会社従業員の年齢バランスがいびつとなって様々な弊害をもたらしたことが要因の1つとされ、今後採用計画を前述の経験を踏まえ、「コンスタントに従業員を一定数確保するだろう」ということです。現場

では、団塊世代の大量退職を迎え、技術継承のための人手不足感など、依然根強く、長期的な視野で将来を見据えた場合、定期採用を大幅には減らすのは考えにくい状況にあるようです。また、「長期的に育成することが必要な基幹的業務を担う者の確保」つまり、次代を担うコア人材の獲得を目的と



就職先として視野に入れている規模に関しては、「業界トップの企業を中心に活動」「大手企業を中心に活動」の合計が51.9%で、傾向を見れば「大手志向」であるが、企業ブランドに惹かれたものではなく、堅実なるが故の選択からのものであることが分析できます。

いずれにせよ、前年の傾向に踊らされることなく冷静に状況を捉えていること

した採用人数の増加が必要不可欠であるということにたどりつきます。

選考時期に関しては、日本経団連が「倫理憲章」を発表しており、4月開始の順守をよびかけています。

早期化を推進するのは、憲章に賛同しない企業などで、早期化に歯止めがかかりにくい要因となっています。

就職活動の早期化は、「学業の妨げ



となる」として大学側からも自粛を求めており、大学の申し入れが一定のプレーキ役となるのを期待していますが、その効果を発揮するかは、未知数です。

平成 20 年度では、3 月以前の内々定開始が前年度より増加しており、2010 年も内々定出しの早期化傾向は、続くと予測され、早期内定獲得者とそうでない学生とでは、就職活動の長期化が懸念されるところでしよう。

「社会人基礎力」という能力

ここで、企業の求める人材像についてふれてみたいと思います。

企業では、採用のミスマッチを減らすことを目的に、入社時に求められる能力を提示しているところが多くなってきています。その目安となるものが「社会人基礎力」です。

実際、就職活動に臨んでみると自分の性格、適性や業界・業種の研究等に戸惑う学生が多々見受けられますが、企業が望んでいる人材像は何か、自分はどうなのかを

冷静に自己分析してみることが大切で、その必要な概念が「社会人基礎力」なのです。企業によっては、業種が同じでも求める「社会人基礎力」は異なることがあり、自分とマッチングした「社会人基礎力」を求める企業が好ましいといえるでしょう。

企業の「採用基準が明確でない」とする意見も経済産業省の調査で 61%とした調査結果もありますが、理系に不足がちなコミュニケーション能力（企業が採用時に最も重視する能力）を培い「社会人基礎力」というスキルを理解・実践することが肝要なのです。

また、とにかくアクションをおこすこ

とです。一步踏み込めば道は開けるのではないのでしょうか。

生産工学部では、平成 20 年度も多くの企業人事担当者・校友の皆様の就職支援活動にご尽力頂きました。特に 2 月上旬に実施する生産工学部就職セミナーは年々充実したものであり、これを皮切りに就職活動に専念する学生がそのほとんどだったのではないかと思います。

また就職指導委員会と就職指導課が連携した結果、今年度も無事就職支援行事・活動の区切りを迎えようとしています。一方、2010 年入社予定対象の就職戦線は、既にはじまっており、就職活動に臨む学生の皆さんは、これからが本番となります。

就職に臨む 3 年生の皆さんも、数年後に就職を控える在校生の皆さんも、次頁以降に、4 年生の就職活動体験談を掲載しましたので、是非、一読、参考としてください。

就職指導委員会

「社会人基礎力」(3つの能力 / 12の要素)

前に踏み出す力 (アクション)



- 主体性
- 働きかけ力
- 実行力

考え抜く力 (シンキング)



- 課題発見力
- 計画力
- 創造力

チームで働く力 (チームワーク)



- 発信力
- 傾聴力
- 柔軟性
- 状況把握力
- 規律性
- ストレスコントロール力

就職活動 体験記

機械工学科

宮本 洋一

私が就職活動を開始したのは12月の下旬でした。

その頃になって就職活動サイトに登録をはじめ、1・2月は合同説明会などに参加し、最初にエントリーシートを提出したのは3月の中旬でした。

そして、受験した企業から内定を頂いたのが6月の下旬でしたからちょうど6ヶ月ほどの就職活動でした。その間に私が選考を受けた会社は4社です。うち3社はすべて3月中旬にエントリーシートの締め切りがありましたが、結果は全社とも書類選考で敗退でした。

ここでの失敗点は、高望みすぎた、準備不足、就職活動をなめていた。考えてみると、落ちて当然でした。

それ以降4・5月は、就職活動はほとんどやらずに、卒業研究ばかりしていました。大学院への進学にも揺れました。

しかし、いつまでもダラダラしているわけにはいかないので就職活動を再開しようとした時、私は公募に目をつけました。まず公募リストの中から条件をしぼっていくつかの企業を探しました。その中から自分の希望にマッチしている企業を見つけることができたので、行動を始めました。

ここからはもう本気です。エントリーシートの書き方の本を入手したり、SPI対策をしたり、とやっと人並みの就職活動が始まりました。

機械工学科内で運用されている通称“グリーンカード”，その提出後最初の関門である「学内選考」は運良く突破でき、企業へ書類を提出しました。

書類選考は問題なく通ったらしく、1次選考へ進むことができました。1次選考はクレペリン検査と筆記試験、受けてみた感じでは絶対通る自信がありました。予想通り突破。

いよいよ2次選考の集団面接。これまで書類で落ち続けたために初面接です。場慣れしておらず大変緊張しました。面接の内容は、志望動機、希望職種や自己PR等の基本的なことでした。どきどきしながら結果を待っていましたが、突破。

夢にまで見た最終選考の個人面接へと到達。内容は技術面接。もう知っていることを全部話してきました。一

時期、就職活動を休止し卒業研究に打ち込んでいたせいもあって、研究内容については自信を持って話すことができました。

結果はどうなっているのか予想もできずに心配していましたが、最終選考の翌日に企業の採用担当の方から合格のお電話を頂きました。

機械工学科の事務員の方々には公募書類の送付等で、ご支援を頂きました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

私の就職活動は決して模範的な就職活動ではありませんでしたが、最終的にはうまくいきました。

私は自己診断なんて自分を見つめなおすことは就職活動でもなければしなかっただろうし、その他にもこれからの力となるだろう経験をたくさんすることができました。

就職活動は自分の未来に直接関わってくることで、後輩の皆さんも面倒くさがらずに動いてみてください。必ず結果はついてきます。

就職活動 体験記

電気電子工学科

前田 称太郎

東京電力(株) (内定)

私は、就職活動を始める上で四つのことを重点的に行いました。

まず一つ目は、「自己分析」です。自分の今の能力を知る必要があります。これによって自分に何が足りないのか、自分はこれから何をしなければいけないのかを明確にします。

二つ目は、「自分独自の企業研究ノート」を作成することです。ここで重要なのは、「自分の価値観」に基づいて企業研究ノートを作成することです。つまり、自分自身が企業選びをする上で何を重要視しているかを考えながら会社説明会に参加し、メモをとるということです。そして、企業研究に基づいて自分の目標設定を行います。

三つ目は、「自己啓発」によって新しい知識を得て、感性を磨き、「コミュニケーション能力」を高め、企業とマッチングするためにはどうしたらいいのか、自分という人間を磨くことが重要です。

四つ目は、いよいよ目標設定した会社への「チャレンジ」です。ここで重要なのは、「自分自身と企業がマッチング」することを意識することです。「マッチング」とは、ありのままの飾らない自分という人間と企業の求める人間像がマッチングしているかどうかということです。このマッチングを達成させるには「自己分析」を日頃から行い、自分を磨くことが重要となります。

そして、ここからは私が行った試験対策について述べます。

まず、「エントリーシート対策」です。エントリーシートは主に自己PRや学生時代に取り組んだこと、志望動機などを書きます。対策としては、自己分析を継続して行い、自分がこれまで何をしてきたのか等を書き出して、自分が一番頑張ったことを強みとして広げていくことで克服しました。

次に、「筆記試験やWeb試験の対策」です。このような一般常識が問われる試験は、企業の出題傾向にあたる問題を解答したり、いろいろな参考書を利用して数多くの問題をこなしたりして克服しました。

最後に、「面接対策」です。面接をする際、やはり緊張はつきものです。そこで私は、面接は面接者との会話におけるコミュニケーションを図ることで緊張をほぐしました。

また、面接の内容は、一般にエントリーシートと照らし合わせながら行われるので、前もって自己分析をし、「自分の強みとなること、ありのまま

の飾らない自分という人間を理解してもらえるように」、「自分がこの会社で働きたいという情熱」、「自分はこの会社でなければならないという信念」などをエントリーシートに書きました。その結果、面接で深いところまで質問されても堂々と受け応えることができ、克服しました。

この就職活動を終えて、私は、ありのままの飾らない自分の考えや想いなどの情熱を会社に伝えることが重要なことだと実感しました。そして、就職活動において一番大切なことは、「自分の志望する会社への熱意」や「この会社でなければならないという信念」など、自分の気持ちがしっかりし、さらに明確に伝えることだと感じました。



就職活動 体験記

土木工学専攻

織茂 佳士

前田建設工業(株)(内定)

私が就職活動を本格的に始めたのは大学院1年生の2月頃で、会社説明会に慌ててエントリーしたため、準備期間が短い状態で採用試験を受けることになりました。

それまで私は就職活動では、SPIや面接対策をすればいいと思っていましたが、ビジネスメールの書き方、会社に電話するときの時間帯、コートを着ている場合は社内に入る前に脱ぐこと、封筒で郵送する場合は書類が折れないようにクリアファイルに入れるなど、社会人としてのマナーがほとんど分かっておらず、就職活動に対する準備を11月頃から本格的に始めればよかったと痛感しました。

就職活動を始めたきっかけは、研究室の先輩から企業の資料をもらったことや、先輩から「この会社はとて面白いよ。」と聞き、その会社について調べ始めたことからでした。

企業研究をしていくうちに、「この会社に入りたい。」と思うようになり、会社説明会ではOB訪問のお願いをし、OBを紹介していただきました。OB訪問では、OBの担当する現場を見学させてもらい、また社内の雰囲気や仕事のことなど様々なことを詳しく教えていただき、「この会社に絶対に入りたい!!」と強く意思を固めることができました。皆さんもOB訪問は絶対にするべきだと思います。

私は、一番最初に受けたのが第一志望の会社であり、採用試験の流れがよくわからず、戸惑うことが多く、

事前にどこかの企業を受けておけば良かったと後悔しました。このため先輩から、採用試験ではSPIの時間配分に気をつけること、ホームページに掲載されている情報は全てチェックすること、面接では椅子の背もたれに寄りかからないこと、最後に質問はありますか?と聞かれたら絶対に質問したほうが良いなど色々なアドバイスをもらい、試験に挑みました。

採用試験は、書類審査、SPI、一次面接、最終面接があり、エントリーシートの自己PRでは、私はボランティアで発達障害の子供達とキャンプなどに参加しているので、ボランティアを通じて様々な事を学んだ経験が会社に入っても役に立つと言った内容を書き、志望理由では色々な企業と比較しながら、貴社に入りたいという強い意思が伝わるような文章になるよう心掛けました。

エントリーシートは研究室の先輩など色々な人に見てもらいましたが、その中でもOB訪問をした時のOBに見てもらったことが大変良かったと思います。OBは会社のことは基より、自分の会社がどのような人を求めているのかわかっていると思いますし、実際にその会社の採用試験を受けて採用された方ですので、OBに見てもらうことが最良と実感しました。

一次面接では大抵エントリーシートに沿ったことを聞かれますので、皆さんも聞いて欲しいこと、つっ込んで欲しいことを書くと良いと思います。

最終面接は3人のグループ面接で、学生時代に一番頑張ったことを1分間スピーチした後、そのスピーチに対することから、専門分野に関すること、業界に関することなど様々な質問を受けましたが、会話がつながるように内容を考えながら話をすることを心掛けました。面接では笑顔で自信をもってはっきりと答えたほうが良いと思います。でませを言うと面接官はすぐ見抜くので、ありのままの自分をだし、知っている範囲で答えれば良いと思います。

私は運良く第一志望の会社から内定をいただきましたが、私一人の力では内定を勝ち取ることは難しかったと思います。これも就職活動でお世話になった先生や先輩、OBの方、また私を支えてくれた友人のおかげであり、とても感謝しています。

就職活動は早めに始めて絶対に損はしないので、皆さんは就職活動を早めに始め、最後まで諦めずに全力で頑張ってください。

就職活動 体験記

建築工学科

古東 達成

私の就職活動はほとんど公務員試験の勉強に時間を費やしました。といっても始めたのは大学三年生の終わり二月でした。

『就職』という言葉にたいして、社会にでて働くという決心が全くつかず自分に甘んじた結果が皆から遅れをとっていました。そんな中、研究室の先輩が県庁行きを決めたと聞き、理系の人間でもいけると知らなかったのので、就職活動候補には入ってなかったのですが、先輩が見事合格したのでいろいろと話を聞いて、自分も都市計画や、行政に携わっていきたいと思い公務員を目指しました。

実際公務員になるにはどうしたら良いのか全くわからず、先輩のアドバイスで、学校で行われている公務員対策講座を受けることにしました。

ここでは、公務員試験に必要な一般教養や情報を得ることが出来ました。そこには、夏から講座を受けている人ばかりで、自分とは若干の差があり公務員試験のことを知れば知るほど、狭き門、長い道だと何度かあきらめそうになったのですが、もう自分には後がなく、ただ頑張るしかありませんでした。

春休みから始めたので、一般教養の知識を勉強するのに春休みを返上して毎日、ずっと勉強をして、新学期には周りと同じレベル…とまでは行かないが自分に自信が持てること

ろまで知識を上げることができました。専門知識は大学三年間習っていたことなので三年間を復習する勉強を行い、公務員試験の過去問をたくさん解いていきました。小論文は公務員講座で、出題傾向、書き方、時事、データを教えてもらい練習しました。

公務員試験の筆記試験は、知識だけでなく、何気ない場所の文字を注意深く見てくるので小論文や、専門試験で時間がないからと殴り書きをするとそれだけで、不利になるらしく、最後まで気をぬかず、丁寧な文字を書く心がけが必要でした。

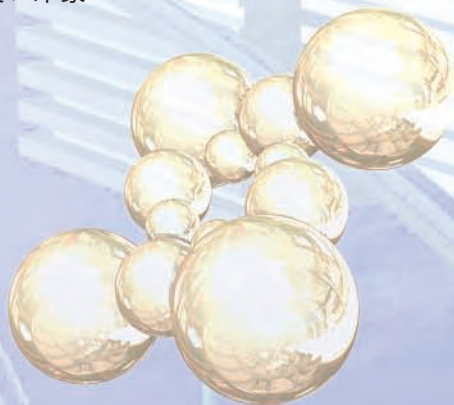
県庁と特別区の面接を受けましたが面接では特にその人の人間性が見たいらしく、エントリーシートにない質問ばかり聞かれました。もちろん志望動機や、なぜ公務員なのか？ということは聞かれましたが、正直なところや誠実なところを出していたので、共に良い結果がうまれたのだと思いました。

面接で知らないことを聞かれたら無理せず、正直に知らないと答えて試験官との会話を楽しむと良い印象をもたれると感じました。

公務員を目指している人で、勉強が難しくあきらめそうな人が多いと思います。試験は面接もあり人物試験が大きいことを知っておくべきです。僕は、付属高校から大学へ上がってきたので、勉強が苦手です。

しかし、面接で、取り返すことができました。試験を受けることをあきらめなさい。正直内定をもらったのも運が良かったというのがありますが、あきらめなさい、頑張ったことが大きかったです。そして、これから目指す人で、もう遅いと思わずに、学校で開いている公務員講座に積極的に参加すべきです。講座は本当に自分の役に立つし、勉強、面接、すべてのコツを教えてください。

あきらめなければ道はそこから開けるとおもいます。不安や心配はつきないと思いますが、頑張ってください。



就職活動 体験記

応用分子化学専攻

上原 隆志

私が就職活動を行う際、常に考えていたことは、希望する会社に対して「私は、御社に貢献することができる」ことを伝えるためにはどのようなアピールをするべきかということを念頭に置いていました。

始めに、この「御社に貢献することができる」というキーワードをなぜそう言えるのかと自問自答し、追及していく作業を行う中で、「私は、御社に合っている」「私には、貢献する能力がある」という2つの側面に分解し、自己アピールを考えていきました。

「御社に合っている」ことを伝えるために、展開されている事業内容と私のやりたい仕事がフィッティングしていることを明らかにする作業を行いました。まず、会社を広く知るために学内の就職指導課で会社案内を熟読し、書店で売られている業界研究本などを読み理解を深めました。

その上で、選考過程とは別に設けられていた工場見学に参加しました。本来、この工場見学を希望する受験者は一人一箇所ほどしか参加されないそうですが、私は、設置されていた全ての見学会（4箇所）と博物館見学会に積極的に参加し、内部の詳細な情報をより多く得ることができました。

このような背景により、私のやりたい仕事と重ね合わせ、活躍できる場所に恵まれていることを確信し、会社に適している人材であることを固めていきました。

次に、「貢献する能力がある」ことを伝えるために、現在行っている研究活動から身につけた知識と技術をどのような事業部門で生かすことができるのかということをもとめる作業を行いました。

まず、研究概要を一枚の要旨にまとめる作業を行うと共に、口頭で誰もが分かりやすく理解できる説明を追及していきました。

このとき、学内で行った発表会や学会活動で培ったプレゼンテーションの経験が役に立ちました。その上で、希望する事業部門で専門性を生かし活躍している未来の自分の姿を思い浮かべまとめていきました。

また、研究活動を通して身につけた物事に対する姿勢や障壁が現れたとき乗り越えるための対処方法などの実体験に基づいたエピソードを自分なりにまとめていきました。

現在、当時を振り返り就職活動とは、自分自身を真剣に見つめ直す期間であり、濃縮された大学生活で学んだことを発信するための機会であったと思います。

内定の通知を頂いた時の感動は、決して忘れられません。

しかし、この就職活動ができたことは、周りの人の支えがあったからだと痛感しております。様々な助言を与えて下さった先生、また家族に感謝しております。

就職活動 体験記

管理工学専攻

博士前期課程2年

小泉 綾香

私が本格的に就職活動を始めたのは1月頃で、周囲に比べると遅めのスタートでしたが、やりたいことはすでに決まっており同時に就職したい会社も決まっていました。

しかし、それだけではあまりにも受験企業が少なく感じ、同時に不安でもありました。

その不安を解消すべく、先輩やOBなどに相談し最終的には10社ほど受験することに決め、特に合同説明会への参加などはしないまま就職活動を進めていきました。

そのかわりに企業で主催される工場見学や技術講演会などに参加しました。

その後は企業の説明会への参加、パーソナリティテスト、学力テストおよびエントリーシートの提出と続き、その際に就職の第1関門となるエントリーシートを書くため「自分」に関することをまとめていきました。自分が今まで何を考え、どう行動し、結果得られたものは何であったのか、と順序だてて「自分」について考えることで「自己アピール」および「志望動機」に繋げていきました。

これは結果的にその後の面接にも役立ったと思います。学力テストに関しては、書店で売られている本を購入し一通り目を通し、テスト問題に慣れるための練習をしました。

3月中旬からは、それぞれの企業において面接が順次開始されました。面接の直前には、それまでに提出したエントリーシートなど書類のコピー、その企業の資料等に目を通してから面接を受けていました。

企業ごとに面接の形式は若干異なりますが、基本的には提出した書類に沿って自分自身について聞かれました。

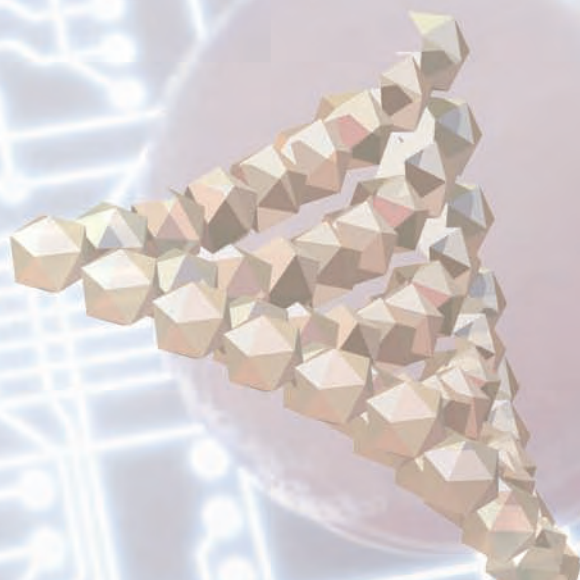
学業について、アルバイトについて、交友関係について、企業によってどこを重点におくかは異なりますが、もし自分が特にここはアピールしたいという点があるのであればエントリーシートを記入する段階から注意した方が良いと思います。

そして面接はあくまで会話の延長線上からなるものなので、相手の話をよく聞くことも重要です。

その他就職活動に対して行った対策としては、先輩やOBに話を聞く他に、就職担当の先生にエントリーシートをチェックしてもらいました。他人に意見を求めることによって、自分では分かりにくい自分自身が見えてくると思います。

就職活動をしていく中で周囲と自分を比べてしまい、焦ったり、気負ったりすることもあるかと思いますが、そんな必要はなくあらゆる方向から自分を見つめ、納得のいく行動をとることが重要ではないかと思います。

そうすることによって自分にとっての最善の結果がでると思います。



就職活動 体験記

数理情報工学科

相崎 正明

3年後期のテストを終えて、私が本格的に就職活動を開始したのは3年の1月後半からでした。

日本電気(株)の学校推薦の枠があるということで、通常の就職活動と同時に学校推薦の選考も進めていただきました。

学校推薦は内定を頂けた場合、内定辞退ができないという約束もあるのですが、推薦でしか募集していない会社があったり、選考自体が一般のものとは変わったりする場合もあるので、一度は考えてみたほうが良いかと思えます。

私が就職活動を行う上で最も大変だった部分であり一番大切だと思うのが、自己PRや志望動機を考えるといった基本的な部分です。この部分をはっきり言うことができれば、面接なども自信をもって受けることができますし、相手が受ける印象を大きく変えることができると思います。

私は自己PRを30秒、1分など長さを変えたものをいくつか用意し、集団面接、個人面接、履歴書などの場合でも困ることはないようにしました。

また、志望動機は自分の会社に対する思いを存分にぶつけられる部分であり、自己PRと同様に大変重要な部分だと思います。日本電気(株)では文字制限が無く、例年内定している日大生は志望動機を1000字程度書いているということだったので、そういった部分からも内定者の気迫を感じ、私も気合を入れ直しました。

これらは自分が納得するだけでは

なく他人からみても納得してもらえない文章でないといけないため、何度も書き直してはリクルーターや同じ就活生に文章を添削してもらいました。

実際の選考は数をこなしていくうちにだんだん慣れていくと思います。SPIやテストセンターなどの筆記試験は顕著で、就職活動を進めていると段々点数がとれるようになっていきます。

特に同じ業種、同系列の会社などは似たような試験、場合によってはまったく同じ試験を出題される場合もあるので、自分の行きたい会社の関連会社を先に受けておくとう利だと思えます。

面接では元気よくということが一番に考え、その上で自分自身の考えをはっきり言うことを心がけていました。

質問されるだろうと予想できるものの答えをあらかじめ考えておくのは大切ですが、想定できないような質問をされることもしばしばあるので、文章というより核になる考えをしっかり持って面接に取り組むことが大事だと思います。

これらのことを頭におき就職活動を行うことで3月に初めて内定を頂き、その後はなおさら自信を持って就職活動に取り組むことで最終的に5月に第一希望の会社から内定を頂くことができました。

就職活動中は不安が一杯で、内定を頂いたり周りが就職活動を辞め始めたりすると、自分ももう就職活動を辞めてしまいたいと思ってしまうかもしれません。

ですが、ここでの頑張りが将来につながっていくと思うので、是非納得のいくまで頑張ってください。



もっと BikaBika 生産工



士(さむらい)商法には気をつけてネ? の巻 画:さとう ゆき

偉いジャン!

不景気で内定
取り消しの
ニュースも
出てるよね。

じゃなくて、
将来のことを
考えて何か資格を
とりたくて…
資料を
取り寄せたの。

**キャリア
アップ!**

おはよー

熱心に
何見てるの?
また旅行?
食へ放題?

ある日ー

ある日ー

これららの講座を
受講されれば
どなたでも
国家資格が
とれるんですよ!

就職に強い…

実家にて…

この前、
実家に帰った
時にね

それにしても
この資料どこで
請求したの?!

何の資格
とればイイ
と思う??

それって…
じゃないの?

士(サムライ)商法

「就職に有利」だとか、「資格を必要
とする仕事を提供する」などと
言って、資格取得のための通信教育費や、
授業料を支払わせる商法のことよ!

資格の名称が「〇〇士」
となってるものが
多いところからこの
名前がついた
のよ。

武士が
AKI-NAI
するの??

資格がとれたら、
うちの会社から
仕事をあつ旋
できますよ

ちょっと
ちょっと
待った!

こわい

電話で申込みを
してしまっても、契
約した日から8日以内は
クーリングオフが適用され
ます。早めに身近の消費生活
相談窓口か消費生活センタ
ーに相談してください。
ひとりで悩まずに
すぐ相談しよう。

おぬし、
そろそろ
就活スタート
じゃな? とつせ
となるならやりたい
仕事に關係する
資格にしろの
じゃ!

かしこまり
ました…

さびび、1度
被害に遭って
しまつと、「試験
に受かるまでは
終了できない」など
契約が続いている
かのようになってしまう
更新料や返会料を
請求するケースも
あるのよ。

二次被害!!

そ、そーだったの…?

重要なことは、何事にも ポジティブに挑戦すること



学生が中心のキャンパスをめざして、教職員をはじめ、多くの人々がさまざまなかたちで学生をバックアップしている生産工学部。その中でも心強いサポートをしてくださる卒業生の方々を紹介するのが、このコーナーです。今回は日揮（株）第2プロジェクト本部 環境・新プロジェクト事業部 OSMOSグループ グループリーダー（兼務）原子力プロジェクト事業部プロジェクトマネージャーの門 万寿男さんにご登場いただきました。

いま日揮（株）で、どんなお仕事をされてるのでしょうか。

環境・新プロジェクト事業部というところで、いま話題のCO₂削減とか水の浄化に関する仕事を。ここでは事業の新規開拓も担っており、現在、構造物を遠隔モニタリングするシステムをビジネス展開しています。

OSMOS (Optical Strand Monitoring System) ってご存知ですか。これはフラ



上：今回インタビューを行った日揮（株）が入っている、みなとみらい地区に建つクイーンズタワー（写真提供：日揮（株））。
右：お話を伺った門（かど）さん。



【PROFILE】

昭和28年生まれ、岡山県出身。昭和51年3月生産工学部数理工学科卒業。卒業後、2年間同学科の助手として勤め、昭和56年3月に同大学院の生産工学研究科・建築工学専攻修了。同年4月に日揮株式会社に入社。現在、原子力環境に関する事業のプロジェクトマネージャー兼、いま注目を集めるOSMOSシステムを活用したモニタリング事業のグループリーダーとして活躍、多忙な日々を送っている。



ンスから技術導入しました光ファイバーセンサーを使用し、構造物がいまどんな常態かをいち早く感知知らせしてくれるシステム。このシステムの開発と普及に力を入れています。いま国交省が管理する全国各地にある橋梁やトンネル、ダム、建築物等の安全をサポートしています。また原子力施設を地震から守るための施設設計の見直し、いわば耐震バックチェック業務等を推進しています。

**いまの会社を選ばれたきっかけは
どんなことでしょうか。**

大学では統計や確立論を中心に学び、大学院では柴田耕一先生の下で建築工学、主に耐震に関するさまざまな研究・実験に明け暮れていたのを覚えています。特に就職活動はほとんどしていなかったのですが、ある日、柴田先生から突然「オイ、面接いくぞ」と言われびっくりです。幸運なことに、いまの会社に即採用となりました。古きよき時代といえますか、これも柴田先生のおかげと感謝しております。

漠然としたイメージですが、当時も優れた先生方が多くおられ幅広く勉強できたので、就職しても不安というより、社会に出たらいろいろできそうだと希望に胸膨らませていましたね。実際、入社後早々の仕事にもほとんど躊躇なく関わりましたし、時には先輩から「お前、10年選手の顔してるな〜」と。いま考えると無謀というか、エネルギーに満ち溢れていたんですね。

**これから業界では、
どんな人材が必要とされますか。**

エンジニアリング企業としては、やはりグローバルな感覚を備えた人材を必要

としています。日本の中だけで仕事は成り立ちませんし、海外のいろいろな方たちと積極的に関係を築いて行かなければなりません。耳にしたことがおありだと思いますが「会社に入れば、限られた村社会」というか、そういう世界ではないんです。相手があって、それぞれ生活習慣や考え方、宗教等は異なるもの。それぞれ理解して対応していかねばなりません。日本では当たり前でも、国が異なれば非常識ということも多々あることを理解してほしいですね。

これは余談ですが、当社には中東やアラブからの方々もたくさんいらっしゃいます。お客様の中には信仰上の理由から食べられないものがあります。このためランチミーティングの時は、例えばイスラムの方たちが食べても良い食材で作った“ハラール弁当”というのを事前に用意します。気遣いというか、思いやりというか、こうした知識も必要です。

したがって、企業側から見れば、若いうちに世界を見聞しグローバルな感覚を養った人、そうした人材が一人でも多く入社してほしいと希望しています。いまの世の中、日本だけで生きていけませんから。語学を通して各国の文化を理解することは大切なことです。

**これから社会に出ようとする
後輩へアドバイスををお願いします。**

日頃から自分ならではの資質を磨いておいてください。短時間で身につくわけではありませんから、時間的にも余裕のある学生の間に、いろんなことにチャレンジしてほしいですね。採用する側から言えば、成績がちょっと悪くてもいいんです。会社に入ったら、いくらでも教育はできます。要は本人の“やる気、勇気、元

気”。何事にもポジティブに挑戦できるかどうか重要なポイントなんです。それから、いかに多くの友人をつくるか。友人は、大切でしかも貴重な財産です。利害関係を越えた幅広い人脈形成に心がけてください。

また社会に出ると、母校は宝だと思える日が必ずや来ることも、覚えておいてほしいですね。人脈という点では日大OBはいっぱいいますので、何か問題があったときや相談事があるとき、先生方や先輩、友人を気兼ねなく尋ねてください。解決の糸口がきっと見つかります。ビジネス上ではある意味、母校は情報源でもありますし、私も日揮で大きな仕事ができるのも、母校があればこそと思っています。

〈取材後記〉

温和な語り口で、いろいろな質問にお答えくださった門さん。少年の頃、手にした石器に、どんな暮らしをしてたんだろう…どうやって造ったんだろう…などと思いをめぐらすことが好きだったとか。「今も研究所出張の折り、近くのイモ畑で石器や土器を拾ってくるんですよ」、「時間がとれたらもう一度大学院で考古学を学びたい」と話してくれました。ビジネスの世界でも、さまざまな角度からの探究心が大切で重要なポイント。熱きハートと想像力の持ち主の門さんは、いまも、時代をリードし第一線で活躍の場を拓けている。

電気電子工学専攻

比連崎 文彦 君
電気設備学会全国大会発表奨励賞受賞

電気電子工学専攻2年の比連崎文彦君は、平成20年9月4日（木）から5日（金）まで愛媛大学で開催された平成20年度（第26回）電気設備学会全国大会において、電気設備学会全国大会発表奨励賞を受賞しました。

この賞は、全国大会の一般講演において発表ならびに研究の内容が優秀であると認められた35歳以下の新進の研究者に対して贈られるものです。今回の大会では182件の講演の中から、13件（13名）が受賞しました。

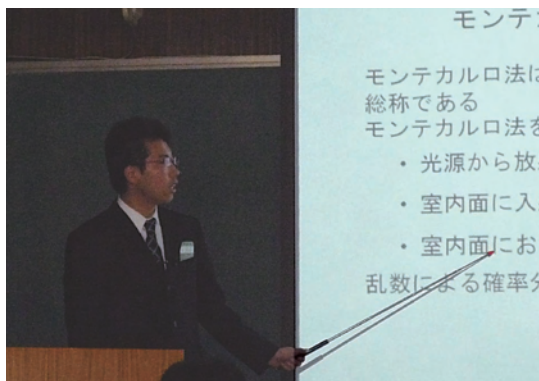
対象論文は「LED光源を使用した照明設計に適用する計算方法の検討」であり、比連崎君が所属する研究室の大谷義彦教授、内田暁専任講師と共同で研究した成果を取りまとめたものです。

この研究の目的は、水銀を用いず、また省エネルギーに貢献できるとされる、LED（発光ダイオード：Light Emitting Diode）を使用した照明設計に適用できる計算方法の開発です。対象論文では、種々のLED光源に適用可能な計算方法を提案するとともに、実験により提案した方法の有用性を検証しています。

研究成果は、日常の生活に欠かすことのできない照明を対象としたものであるとともに、今後もますます利用されるLEDに着目した大変意義のあるものと考えます。この受賞をきっかけに、比連崎君の今後のさらなる活躍を期待します。



電気電子工学研究科2年
比連崎 文彦 君



電気設備学会全国大会で発表する比連崎君。

おめでとう比連崎君。
これからもがんばって!!



建築工学科

第10回宮脇賞
1年生グループの「都市ギャラリー」が受賞

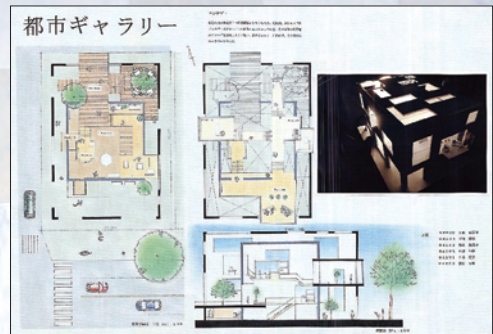
居住空間デザインコースでは毎年「宮脇賞」を開催しています。「宮脇賞」とは当該年度の設計課題の中から、学年を問わずに最優秀作品を選考する行事です。コース創設者の宮脇檀先生を記念して1998年に設けられ、今年でちょうど10年目を迎えました。

宮脇先生はテレビや雑誌などでも活躍しておられた著名住宅作家ですが、本コースでは「話が面白く、料理が得意でカッコイイ先生」として多くの学生に慕われていました。大学にはだれよりも早く到着し自ら製図室の掃除をされていたほど教育熱心な先生で、1998年ガンで亡くなる直前まで病室からFAXで卒業設計の指導をしていらしたのが印象的です。

今年度の記念すべき第10回「宮脇賞」は宮脇先生とゆかりのある山本理顕先生（日本大学理工学部出身・横浜国立大学大学院教授）をゲスト審査員にお迎えし、指導する先生方も学生もいつも以上に気合いが入る中行われました。

朝10時過ぎから始まった模型とA1プレゼンによる第1次審査では、1年生から院生までの全80作品の中から20作品が選出されました。午後からはゲスト審査員を含めた公開審査が行われ、各作品5分程度のプレゼンテーションの後、1回目の投票と討論会、そして最終投票が行われました。

本年度は大接戦の末、1年生グループ課題「都市ギャラリー」（中島紀子・石瀬彩友子・鈴木里佳子・中川沙織・平田麻実・宮田有里）が「宮脇賞」を獲得しました。ゲスト審査員の「山本賞」には3年生集住デザイン課題「[libero]



宮脇賞「都市ギャラリー」のA1プレゼン



宮脇賞「都市ギャラリー」模型写真 コメントをする山本理顕先生

街をつなげる自由な空間」（小野木綿子）が選ばれました。その他、各先生方より個人賞が授与されました。

毎年のことではありますが、冬休みを返上して取り組んだ「宮脇賞」は学生達にとって特別のものです。一度提出し終えた課題に再度取り組むことで学生は大きく成長します。さらに学年の垣根を取り外した授業は学生同士非常によい刺激にもなります。1年生は先輩の作品の質の高さやプレゼン技術に学び、4年生は後輩たちの作品を見ることで今まで取り組んできた課題に新たな解を導き出し、柔軟な発想やそのエネルギーに感化されます。「宮脇賞」の持つ多彩な効果を学生達の笑顔に実感しつつ、今回第10回を迎えられたことに感謝したいと思います。



宮脇賞授賞式風景：中村好文研究所教授（右）より宮脇賞の賞状を授与される1年生（左）

応用分子化学科

辻教授がインド化学工学会議 2008 において
**Chemical Weekly's Padmasri Dr G P Kane
 Chemcon Distinguished Speaker Award を受賞**

応用分子化学科教授の辻先生が、2008年12月にパンジヤブ大学（インド、チャンディガール）で開催された学会“CHEMCON・2008”にて招待講演を行ない、Chemical Weekly's Padmasri Dr G P Kane Chemcon Distinguished Speaker Award 2008を受賞されました。

《招待講演題目》

Phase Behavior of Some Systems containing a New Energy, Dimethyl Ether
 —P-V-T relation, Vapor-Liquid Equilibrium, Solubility in Water, Hydrate Formation—



応用分子化学科
 教授 辻 智也



辻先生は現在、

- ・次世代 LPG 代替燃料としてのジメチルエーテル平衡物性推算と熱力学的線図の作成
- ・燃料電池自動車 (FCV) 実用化のための有機系水素貯蔵媒体の開発
- ・日本近海におけるハイドレート採掘のための基礎試験物性測定
- ・フロン代替自然流体を用いた冷凍機システムの開発

などの主要研究テーマに取り組んでおられ、今後さらなるご活躍を期待しています。

数理情報工学科

ソフトウェア開発技術者試験に3名、
基本情報技術者試験に17名の学生が合格

数理情報工学科では「ソフトウェア開発技術者」試験で3名、「基本情報技術者」試験において17名、計20名の学生が合格しました。今後の活躍を期待します。

■ソフトウェア開発技術者試験 (Software Design & Development Engineer Examination) とは、「情報システム開発プロジェクトにて、内部およびプログラム設計書の作成、プログラムの開発、単体・結合テストまでの一連のプロセスを担当する者」を対象としています。その役割は、情報システム開発プロジェクトにおいて、外部仕様に基づいてソフトウェアを開発する業務に従事する人材となっており、難易度の高い試験です。

■基本情報技術者試験 (Fundamental Information Technology Engineer Examination) は、情報処理技術者試験の一区分として行われる試験で、「高度IT人材となるために必要な基本的知識と技能をもち、実践的な能力を身につけた者」を対象に、「コンピュータの基礎からシステムの開発と運用、ネットワーク・データベース・セキュリティ・情報化と経営」など多岐にわたり、主にプログラマ向けの試験となっています。

《合格者》

■ソフトウェア開発技術者試験

- M2 山野井 裕基
- M1 石井 英明
- 4年 豊田 泰斗

■基本情報技術者試験

- | | | |
|-----------|----|-------|
| M2 落合 健人 | 4年 | 近藤 智史 |
| M2 杉木 一也 | 4年 | 松田 康宏 |
| M2 山野井 裕基 | 4年 | 藤森 翔 |
| M1 石井 英明 | 4年 | 宗像 潤 |
| M1 高橋 昂大 | 4年 | 山本 孝一 |
| M1 廣田 稔 | 3年 | 須釜 裕太 |
| 4年 大谷 理奈 | 3年 | 山崎 雄大 |
| 4年 須藤 拓也 | 1年 | 児玉 雄佑 |
| 4年 豊田 泰斗 | | |

学費等の相談及び
教育ローンを利用される方は
会計課窓口まで。

お知らせ

会計課からのお知らせ

授業料その他の学費は期日までに指定の振込用紙を使用のうえ、下記期日までに納入してください。

前期分 = 4月末日

後期分 = 9月末日



平成 20 年度 表彰学生

総長賞

数理情報工学科

坂本 あかね (さかもと あかね)

優秀賞 3名

大塚 隆光 建築工学専攻 M2

2008 年度第 4 回ダイワハウス住宅設計コンペ「住宅のリストラクチャリング II」(主催:大和ハウス工業(株))において優秀賞受賞(応募作品467点,最優秀賞1点,優秀賞2点,佳作6点)

辻 大起 建築工学専攻 M2

2007年度支部共通事業日本建築学会設計競技「人口減少時代のマイタウンの再生」(主催:日本建築学会)で建築工学専攻M2長岡俊介との共同作品で関東支部入選後,各支部入選全73点について全国審査が行なわれ優秀賞受賞(全国応募作品311点,各支部入選作品総数73点,全国審査:最優秀賞3点,優秀賞3点,佳作6点を決定)

板谷 慎 建築工学科 4年

2008 年度支部共通事業日本建築学会設計競技「記憶の器」(主催:日本建築学会)で建築工学科4年永田貴祐との共同作品で関東支部入選後,各支部入選全77点について全国審査が行なわれ優秀賞受賞(全国応募作品343点,各支部入選77点,全国審査:最優秀賞2点,優秀賞5点,佳作5点を決定)

優等賞 23名

| | |
|---------|--------|
| 機械工学科 | 山田 壮一郎 |
| 〃 | 王 経国 |
| 〃 | 葛西 浩平 |
| 〃 | 望月 裕太 |
| 電気電子工学科 | 矢澤 翔大 |
| 〃 | 勝 呂和晃 |
| 〃 | 小林 健人 |

| | |
|-------|--------|
| 土木工学科 | 田村 章后 |
| 〃 | 野中華江 |
| 〃 | 山下 壘 |
| 〃 | 田宮 直樹 |
| 建築工学科 | 草柳 めぐみ |
| 〃 | 成田 静 |
| 〃 | 牛込 絵理佳 |
| 〃 | 池内 孝枝 |

| | |
|---------|--------|
| 応用分子化学科 | 小檜山 裕子 |
| 〃 | 山崎 拓也 |
| 〃 | 本田 寛哉 |
| 管理工学科 | 荒木 翔一 |
| 〃 | 福田 諒 |
| 〃 | 菅原 恭佑 |
| 数理情報工学科 | 宮永 圭佑 |
| 〃 | 松田 康宏 |

善行・課外活動等による表彰学生 51名

課外活動部門(体育系)(18名)

柔道部(2名)

土木工学科 石坂 智毅

平成18年度第47回全日本理工科学学生柔道優勝大会優勝。平成20年度第49回全日本理工科学学生柔道優勝大会優勝。平成17年度日本大学体育大会柔道競技会優勝。平成18年度日本大学体育大会柔道競技会優勝。平成19年度日本大学体育大会柔道競技会優勝。

土木工学科 井島 裕貴

平成20年度第49回全日本理工科学学生柔道優勝大会優勝。平成19年度日本大学体育大会柔道競技会優勝。

バレーボール部(4名)

電気電子工学科 青木 博則

平成17年度日本大学体育大会バレーボール競技会準優勝。平成18年度日本大学体育大会バレーボール競技会優勝。平成19年度日本大学体育大会バレーボール競技会優勝。

電気電子工学科 竹内 善彦

平成17年度日本大学体育大会バレーボール競技会準優勝。平成18年度日本大学体育大会バレーボール競技会優勝。平成19年度日本大学体育大会バレーボール競技会優勝。

土木工学科 吉田 典史

平成17年度日本大学体育大会バレーボール競技会準優勝。平成18年度日本大学体育大会バレーボール競技会優勝。平成19年度日本大学体育大会バレーボール競技会優勝。

建築工学科 嶋田 真

平成17年度日本大学体育大会バレーボール競技会準優勝。

桜魂空手道部(2名)

土木工学科 岡田 英昭

平成19年度関東防具付空手道選手権大会第3位。平成20年度東京都防具付空手道選手権大会有段組手3位。平成20年度全日本格闘技打撃選手権大会プロテクトレベル1重量級第3位。

土木工学科 柴内 拓海

平成17年度東京都防具付空手道選手権大会有級組手準優勝。平成18年度東京都防具付空手道選手権大会有級組手準優勝。平成18年度関東防具付空手道選手権大会有級組手優勝。平成19年度関東防具付空手道選手権大会(オープン戦)準優勝。平成20年度全日本オープン硬式空手道選手権大会組手中量級第3位。平成20年度東京都防具付空手道選手権大会有段組手第3位。

弓道部(3名)

土木工学科 関田 貴典

平成20年度千葉県学生弓道選手権大会(参加11団体)団体優勝。

土木工学科 中澤 啓志

平成20年度千葉県学生弓道選手権大会(参加11団体)団体優勝。

建築工学科 福澤 辰昭

平成20年度千葉県学生弓道選手権大会(参加11団体)団体優勝。

剣道部(5名)

建築工学科 中村 恭平

平成18年度日本大学体育大会剣道競技会第3位。平成19年度日本大学体育大会剣道競技会優勝。

建築工学科 山越 悠史

平成19年度日本大学体育大会剣道競技会優勝。

数理情報工学科 大石 雅之

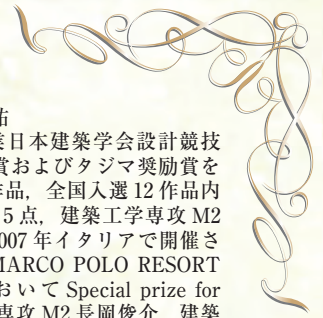
平成18年度日本大学体育大会剣道競技会第3位。平成19年度日本大学体育大会剣道競技会優勝。

数理情報工学科 内藤 竜也

平成18年度日本大学体育大会剣道競技会第3位。平成19年度日本大学体育大会剣道競技会優勝。

数理情報工学科 吉野 崇史

平成19年度日本大学体育大会剣道競技会優勝。



卓球部 (1名)

建築工学科 勝又 植哉

平成 17 年度日本大学体育大会卓球競技準優勝。
平成 17 年度前関東地区理科大学卓球選手権大会団体の部第 3 位。平成 18 年度日本大学体育大会卓球競技第 3 位。平成 20 年度日本大学体育大会卓球競技優勝。

バスケットボール部 (1名)

土木工学科 三輪 大樹

平成 19 年度日本大学体育大会バスケットボール競技会優秀選手賞受賞。平成 19 年度日本大学体育大会バスケットボール競技会第 3 位。

課外活動部門 (学術・文化系) (23名)

津田沼航空研究会 (5名)

機械工学科 上田 翔太

平成 18 年第 30 回鳥人間コンテスト選手権大会滑空機部門第 2 位 (30 チーム中 2 位)。

機械工学科 遠藤 哲也

平成 18 年第 30 回鳥人間コンテスト選手権大会滑空機部門第 2 位 (30 チーム中 2 位)。

機械工学科 高橋 朋哉

平成 18 年第 30 回鳥人間コンテスト選手権大会滑空機部門第 2 位 (30 チーム中 2 位)。

電気電子工学科 荻戸 祥人

平成 18 年第 30 回鳥人間コンテスト選手権大会滑空機部門第 2 位 (30 チーム中 2 位)。

土木工学科 後藤 智智

平成 18 年第 30 回鳥人間コンテスト選手権大会滑空機部門第 2 位 (30 チーム中 2 位)。

機械工学専攻 及川 尚樹

平成 20 年度第 17 回微粒化シンポジウムにて優秀講演賞受賞 (30 人中 4 名)。

機械工学専攻 鈴木 真人

平成 19 年度第 16 回微粒化シンポジウムにて優秀講演賞受賞 (57 名中 5 名)。

電気電子工学専攻 比連崎 文彦

平成 20 年度第 26 回電気設備学会全国大会における講演にて電気設備学会全国大会発表奨励賞受賞 (182 件中 13 件)。

土木工学専攻 鈴木 紗織

土木学会平成 19 年度全国大会第 62 回年次学術講演会にて優秀講演者賞受賞 (VII セッション: 248 件中 18 件)。

建築工学専攻 杉本 弘文

平成 19 年度第 10 回「まちの活性化・都市デザイン競技」(主催: まちづくり月間実行委員会)において、まちづくり月間実行委員会会長賞(全国第 2 位)を受賞 (44 作品中, 入賞 7 作品)。

建築工学専攻 石川 恵悟

2008 年度支部共通事業日本建築学会設計競技「記憶の器」にて関東支部入選 (全国応募総数 343 作品, 入選 77 作品中関東支部入選 15 作品, 建築工学専攻 M2 辻大起, 長岡俊介, 古賀利朗, 皆川和朗と共同制作)。

建築工学専攻 新谷 伸高

2007 日本建築学会設計競技「人口減少時代のマイタウンの再生」支部入選 (応募作品 58 作品, 支部入選 13 作品)。鎌倉市常盤住宅設計競技「良質な都市のストックとしての住宅」(主催: (社) 日本建築家協会関東甲信越建築士会ブロック会)において入賞 (応募作品 39 作品, 入賞 10 作品)。

建築工学専攻 鈴木 紀之

2007 年イシカワグループ住宅設計コンペ (主催: (株) イシカワ, (株) ステーツ) において優秀賞受賞 (応募作品 251 作品, 入賞 12 作品)。2007 年日本建築学会設計競技「人口減少時代のマイタウンの再生」において関東支部入選 (応募作品 58 作品, 支部入選 13 作品)。鎌倉市常盤住宅設計競技「良質な都市のストックとしての住宅」(主催: (社) 日本建築家協会関東甲信越建築士会ブロック会)において入賞 (応募作品 39 作品, 入賞 10 作品)。

建築工学専攻 關川 智子

2008 年度支部共通事業日本建築学会設計競技「記憶の器」にて関東支部入選 (全国応募総数 343 作品, 入選 77 作品中関東支部入選 15 作品, 建築工学専攻 M2 松本豊と共同制作)。

建築工学専攻 田尾 若菜

平成 19 年度愛知建築士会主催の第 2 回学生コンペ「半田赤レンガ・ルネサンス」において最優秀賞受賞 (応募作品 34 作品, 受賞 7 作品)。2007 年日本建築学会設計競技「人口減少時代のマイタウンの再生」において全国審査で佳作受賞 (応募作品数 311 作品, 受賞作品 12 作品)。鎌倉市常盤住宅設計競技「良質な都市のストックとしての住宅」(主催: (社) 日本建築家協会関東甲信越建築士会ブロック会)において入賞 (応募作品 39 作品, 入賞 10 作品)。

建築工学専攻 長岡 俊介

2007 年度支部共通事業日本建築学会設計競技「人口減少時代のマイタウンの再生」において全国審査で優秀賞受賞 (応募作品 311 作品, 全国入選 12 作品, 建築工学専攻 M2 辻大起と共同制作)。2008 年度支部共通事業日本建築学会設計競技「記憶の器」にてグループ作品が関東支部入選 (全国応募総数 343 作品, 入選 77 作品中関東支部入選 15 作品, 建築工学専攻 M2 辻大起, 石川恵吾, 古賀利朗, 皆川和朗と共同制作)。2007 年イタリアで開催された国際設計競技「MARCO POLO RESORT Idea competition」において Special prize for schools を受賞。(建築工学 4 年永田貴祐, 長嶋修右, 松本創と共同制作)。

建築工学専攻 松本 豊

2008 年度支部共通事業日本建築学会設計競技「記憶の器」にて関東支部入選 (全国応募総数 343 作品, 入選 77 作品中関東支部入選 15 作品, 建築工学専攻 M2 關川智子と共同制作)。

建築工学科 伊藤 顕

平成 19 年度石山空き店舗活用設計競技 (主催: 滋賀県・石山商店街振興組合)「まちのコンビニ」において最優秀賞を受賞。(応募作品数 75 作品, 受賞 11 作品)。

建築工学科 宇野 彰

平成 20 年木づかい夢住宅デザイン事業実行委員会「こんな家に住みたい! 埼玉の木の家・設計コンペ 2008」(主催: 木づかい夢住宅デザイン事業実行委員会)において優秀賞受賞。(応募作品数 35 作品, 受賞 3 作品)。

建築工学科 長嶋 修右

2007 年イタリアで開催された国際設計競技「MARCO POLO RESORT Idea competition」において Special prize for schools を受賞。(建築専攻 M2 長岡俊介, 建築工学 4 年永田貴祐, 同松本創と共同制作)。

建築工学科 永田 貴祐

2008 年度支部共通事業日本建築学会設計競技「記憶の器」にて優秀賞およびタジマ奨励賞を受賞。(応募作品 343 作品, 全国入選 12 作品内最優秀賞 2 点, 優秀賞 5 点, 建築工学専攻 M2 板谷慎と共同制作)。2007 年イタリアで開催された国際設計競技「MARCO POLO RESORT Idea competition」において Special prize for schools を受賞。(建築専攻 M2 長岡俊介, 建築工学 4 年長嶋修右, 松本創と共同制作)。

建築工学科 松本 創

2007 年イタリアで開催された国際設計競技「MARCO POLO RESORT Idea competition」において Special prize for schools を受賞。(建築専攻 M2 長岡俊介, 建築工学 4 年永田貴祐, 同長嶋修右と共同制作)。

応用分子化学専攻 澤田 武則

平成 20 年度化学工学会第 40 回秋季大会シンポジウムにおいて優秀発表賞受賞 (対象者 38 名, 受賞者 8 名)。

桜泉祭・スポーツ大会関係 (10名)

土木工学科 長田 勇人

平成 19 年度スポーツ大会実行委員会委員長。

電気電子工学科 小島 剛基

平成 19 年度桜泉祭実行委員長。

電気電子工学科 本澤 佑樹

平成 19 年度桜泉祭実行委員会広報部長。

応用分子化学科 錦崎 泰斗

平成 18 年度桜泉祭実行委員会企画部長。

応用分子化学科 佐藤 貴之

平成 19 年度桜泉祭実行委員会建設部長。

管理工学科 平塚 明紀

平成 18 年度桜泉祭実行委員会財務部長。

管理工学科 藤井 衛

平成 19 年度スポーツ大会実行委員会副委員長。

管理工学科 前川 徹

平成 19 年度桜泉祭実行委員会企画部長。

数理情報工学科 土井 康弘

平成 19 年度桜泉祭実行委員会総務部長。

数理情報工学科 藤沢 雅之

平成 19 年度桜泉祭実行委員会副委員長。

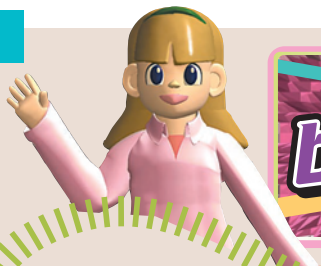
みなさん
がんばりましたね!
おめでとうございます。



平成21年度行事予定

| 行 事 | 2～4年次：津田沼校舎 | 1年次：実叡校舎 | 大学院 | 備 考 |
|---------------------------------------|--|--|------------------|-----------|
| 開 講 式 | | 4月1日(水)津田沼校舎 | 4月1日(水) | |
| ガ イ ダ ン ス | 4月3日(金)～7日(火) ※応化2年 4/1(水)から ※電気・応化3・4年 4/2(木)から | 4月3日(金)～7日(火) | 4月1日(水) | |
| 入 学 式 | | | 4月8日(水) | 日本武道館 |
| 前 期 授 業 開 始 | | 4月9日(木) ※7/17(金)は水曜授業を実施 | | |
| 父 母 懇 談 会 | | 4月11日(土)津田沼校舎 | | |
| 定 期 健 康 診 断 | | 4月14日(火)～17日(金) 女子学生:4月16日(木)・17日(金) | | |
| ス ポ ー ツ 大 会 | | 5月28日(木) | | |
| オ ー プ ン キ ャ ン パ ス I | | 7月12日(日) | | |
| 大学院入学試験(第1期)・学内選考 | | | 7月4日(土) | |
| 前 期 授 業 終 了 | | 7月17日(金) | 7月31日(金) | |
| 補 講 | | 土曜日適時実施 | | |
| 前 期 試 験 | | 7月18日(土)～7月31日(金) | | |
| 夏 季 休 業 | 8月3日(月)～9月11日(金) ※応用分子化学科1・2年のみ9/10(木)まで | | 8月3日(月)～9月11日(金) | |
| オ ー プ ン キ ャ ン パ ス II・III | | 8月1日(土)・2日(日) | | AO入学試験説明会 |
| 追 試 | 卒研等単位取得の4年生 8月7日(金) | | | |
| オ ー プ ン キ ャ ン パ ス IV | | 9月6日(日) | | |
| 追 試 | | 9月7日(月)・8日(火) | | |
| 後 期 ガ イ ダ ン ス | | 9月12日(土) ※応用分子化学科1・2年のみ9/11(金)・9/12(土) | 9月12日(土) | |
| 後 期 授 業 開 始 | | 9月14日(月) ※12/24(木), 1/12(火)は月曜授業を実施 | | |
| A O 入 学 試 験 | | 9月19日(土)・9月20日(日) | | |
| 卒 業 式 学 位 授 与 式 (9月) | 9月24日(木) | | 9月24日(木) | |
| 創 立 記 念 日 | 10月2日(金) 振替休校日 ※10月4日が日曜のため | | | 休校 |
| 編 入 学 試 験 (2年次・3年次) | 10月10日(土) | | | |
| 学 部 祭 (桜 泉 祭) | 11月1日(日)～11月3日(火) | | | |
| オ ー プ ン キ ャ ン パ ス V | 11月1日(日) | | | |
| 指 定 校 制 推 薦 入 学 試 験 | 11月15日(日) | | | |
| 外 国 人 留 学 生 入 学 試 験 | 11月15日(日) | | | |
| 帰 国 生 入 学 試 験 | 11月15日(日) | | | |
| 体 育 推 薦 入 学 試 験 | 11月15日(日) | | | |
| 校 友 子 女 入 学 試 験 | 11月15日(日) | | | |
| 付 属 高 等 学 校 等 入 学 試 験 (付 属 推 薦 B 方 式) | 11月21日(土) | | | |
| 博 士 論 文 提 出 期 日 | | | 11月26日(木) | |
| 学 術 講 演 会 | | 12月5日(土) | | |
| 公 募 制 推 薦 入 学 試 験 | 12月12日(土) | | | |
| 付 属 高 等 学 校 等 入 学 試 験 (付 属 推 薦 A 方 式) | 12月19日(土) | | | |
| 冬 季 休 業 | 12月25日(金)～1月8日(金) | | | |
| 後 期 授 業 終 了 | 1月13日(水) | | 1月28日(木) | |
| 補 講 | 土曜日及び1月14日(木)に適時実施 | | | |
| 大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 (C 方 式) | 1月16日(土)・17日(日) | | | |
| 後 期 試 験 | 1月15日(金)～1月29日(金) | | | |
| 修 士 論 文 概 要 (初 稿) 提 出 期 日 | | | 1月28日(木) | |
| 入 学 試 験 | A 1 方 式 | 2月1日(月) | | |
| | A 2 方 式 | 2月9日(火) | | |
| | A 3 方 式 | 2月19日(金) | | |
| 追 試 | 2月12日(金)・15日(月) | | | |
| 修 士 論 文 提 出 期 日 | | | 2月22日(月) | |
| 大 学 院 入 学 試 験 (第 2 期) | | | 3月6日(土) | |
| 転 科 試 験 (2 年 次) | | 3月上旬 | | |
| 卒 業 式 ・ 学 位 授 与 式 | 3月25日(木) | | 3月25日(木) | 日本武道館 |





D1ミモミの
blog ブログ
掲示板

ハア〜い！みんな元気？待ちに待った春休みだネエ〜
今号は、廃校になった中学校を再生し、ものづくりの拠点として様々な企画や事業を展開中の世田谷にある「IID 世田谷ものづくり学校」を訪問しました。

「学ぶ」「遊ぶ」「働く」がひとつに。
地域再生の新たなコミュニティ！

はじめまして。生産工学部のミモミです。
今日はよろしくお祈りします。
早速ですが「IID 世田谷ものづくり学校」
の設立の経緯をお聞きしたいのですが？

2003年度末、少子化に伴い都内で統廃合になった公立の小・中学校は89校にも
のぼります。IID 世田谷ものづくり学校
(以下IID)は2004年3月で統廃合とな
った世田谷区立池尻中学校を再生する次世
代モデルの廃校跡地再生プロジェクトと
して2004年10月にスタートしました。

行政主導の跡地利用ではなく、地域全
体の文化的生活に貢献し、地域産業を促
進する拠点として有効活用できる場に
したいと考え、2004年秋、民間企業とし
ては都内初、校舎をまるごと一棟借り受け

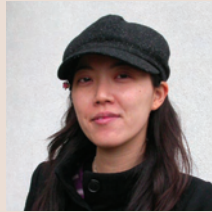


旧池尻中学校の校舎の特長を生かした、明るく開放的な雰囲気の中でクリエイティブ活動が展開されていました。

て、デザインやものづくりを核とした新
しいコミュニティとして誕生しました。

少子化という深刻な状況がある一方、
都心に突如として出現するこうした跡地
の可能性について考えることは、私たち
を非常にワクワクとさせてくれます。あ
るものを活かすRecycle, Reuseの視点
から、「学校」という施設をお金をかけて
むやみに変えるのではなく、アイデアと
センスでもとの教室のよさを活かして
つ、新しい機能を持たせることでコミュ
ニティの場としてRecreateする。IIDが
デザインするのは、単なる空間と

しての「施設」
ではなく、それ
が生み出す状
況なのです。



お話を伺った広報の
上砂さん。

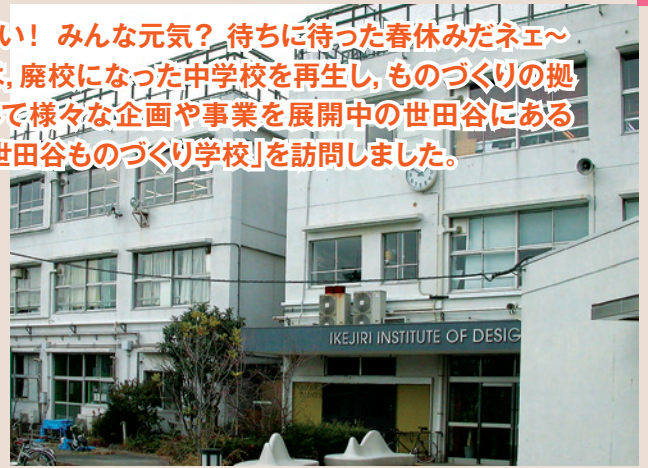
現在この施設で、ものづくりに取り組む
人々が活動中とか？

IIDには現在、一般ビジネスユーザーと
創業支援を目的としたジュニアビジネス
ユーザー併せて40の事業者が入居して
います。デザイン・建築・映像・食・アート・
ファッションなど、デザインとものづく
りを核としたクリエイターの方々のワー
キングスペースでありIIDの要です。また
IIDのWorkshopやEventは、クリエイター
と参加者の出会いから、双方
が学び、発見することを目的
として、入居者と参加者が新
鮮な体験をする機会を提供
しています。年に数回全館規模
で入居者の協力のもと、地域・
ビジターを巻き込んでイベン
トが行なわれるのもIIDの特
色です。

施設に併設されたGallery,
工房、試写室などでは、デザ
イン・建築・映像・食・アート・
音楽・ファッションetcに関連した企画展
やワークショップなどを随時開催して
います。異なる立場の人々が施設を行き来
することで、「働く」「遊ぶ」「学ぶ」をひと
つにつなげるコミュニティとなります。
民間の活力を生かした、新たなコミュ
ニティづくり、地域活性化の場が、IIDです。

「ものづくりに」携わる人々の共通点は？

これは私の感想ですが、みなさん既成
概念にこだわらず、物事をとっても柔軟
に捉えていらっしゃる。そしてご自
分の中に確かなこだわりとセンスがあ
って、魅力的。ですからここで起こる出来事
はマニュアルで片付けられることは一つ
もなく、常に起こった出来事や人と真
正面から対峙することが必要です。一風



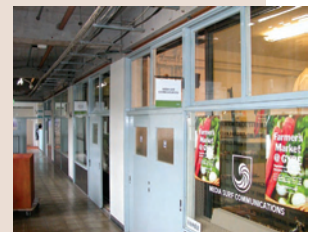
変わった長屋生活でもあるので、各入居
者の性格や個性も知った上で、立場など
関係なく一人の人間としてコミュニケー
ションすることを心がけています。

将来はどのような活動を展開される予定
ですか？

IIDに入居するクリエイター集団は現
在まで、外部企業とのコラボレーション
や世田谷区との仕事を通じ、新たな産業
を生み出してきました。今後もこの機会
を増やし、IIDというブランドとして、
もっといろいろな形で外の世界と関わ
っていききたいというのが一つ。もうひとつ
は、全国にある廃校や遊休施設の活用を
積極的に行っていくこと。IIDの実績はこ
ういった現状に対する一つのトリガーに
なると考えています。そのためのノウ
ハウの提供やコンサルティングなどを今後
も積極的に行っていく予定です。

最後に、大学で「ものづくり」を学ぶ学生
にアドバイスをお願いします！

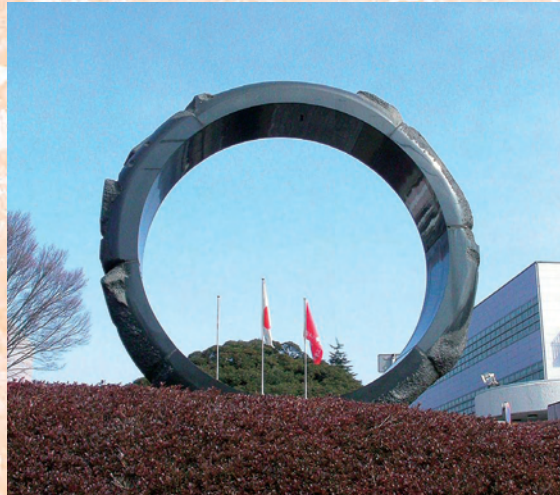
「ものづくりに」関わることはその対象
である「もの」に意識が向かいがちかもし
れませんが、実は「ものづくり」には人と
コミュニケーションし関わるということが
必要不可欠。ここは実際に「ものづく
り」を仕事としているクリエイターのオ
フィスが集まる場所なので、「社会に出て
働く」—「ただ」
「こんな働き方も
あるんだ」という
具体的なイメージ
が掴めるかもしれ
ません。一度訪問
してください。



「IID 世田谷ものづくり学校」は一般の方の見
学もできます。GO SLOW ゆっくりとカフェ
で休憩したり、廊下に掲示された入居者のお
仕事情報など、第一線で活躍するクリエ
ーターの仕事場を見学してみてもは？(月曜休館)
詳しくは→<http://www.r-school.net>

History of CIT

風景の指輪



昭和 57 年 2 月 4 日に落成式を迎えた生産工学部実務校舎の正門前に設置されている「風景の指輪」モニュメント。当時の堺教学部長の礼記が刻まれた石碑とともに、毎年多くの新入生を温かく迎えています。

概要

名 称:「風景の指輪」
作 者:関根 伸夫
材 質:黒御影石
設置場所:日本大学生産工学部実務校舎

スプリング

SPRING No.92

(日本大学生産工学部だより)

平成 21 年 3 月 23 日発行

編集・発行 日本大学生産工学部 広報委員会

本誌に関する照会その他は下記へお願いします。

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 日本大学生産工学部 庶務課

電話 047-474-2201 FAX 047-479-2432

E-mail:kouhou@cit.nihon-u.ac.jp

www.cit.nihon-u.ac.jp

▶CONTENTS